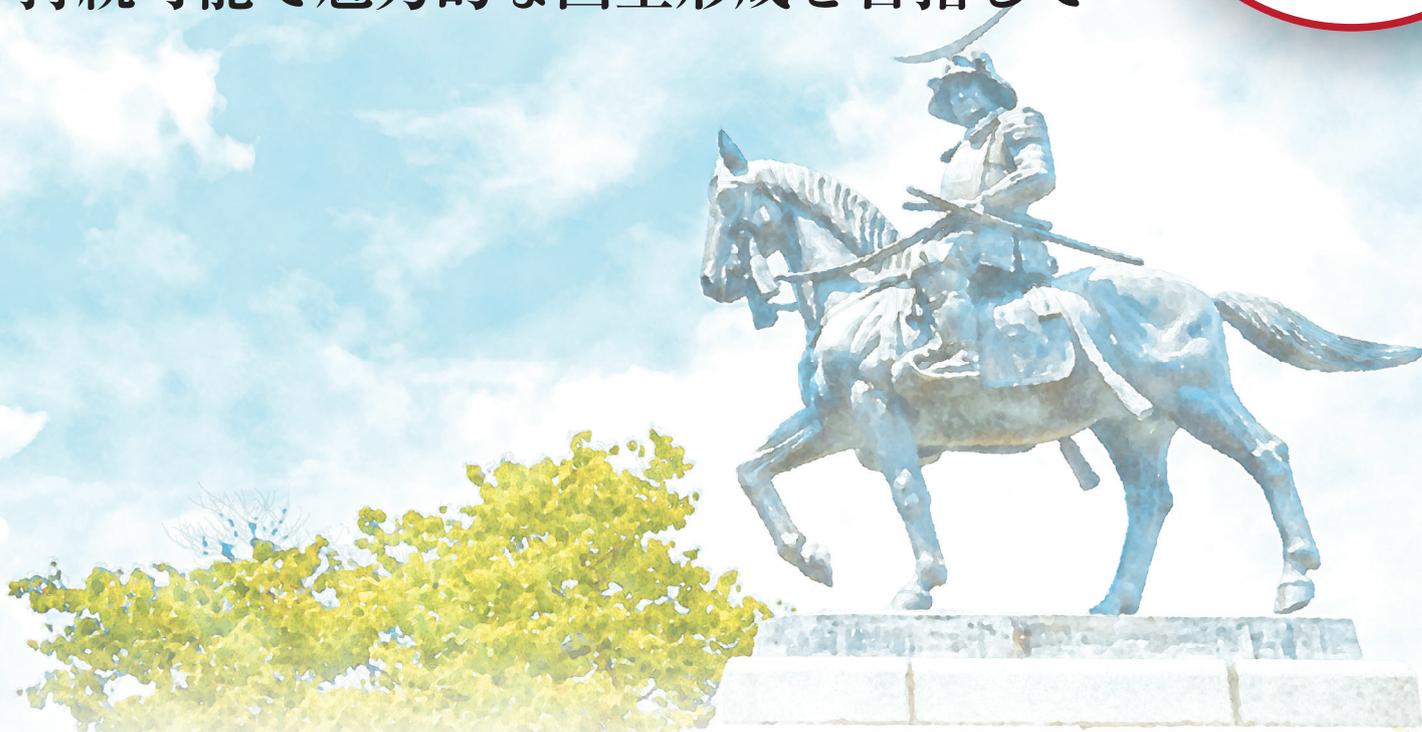


都市の魅力

持続可能で魅力的な国土形成を目指して

参加費 **無料**
定員 **100名**

要申込、先着順



日時

11月24日(金)

13:00-15:00 (12:30開場)

会場

**TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口 ホール7A**

仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-sendai-nishiguchi/access/>



● 登壇者



明治大学 名誉教授
市川 宏雄



特定非営利活動法人
都市デザインワークス
代表理事
榊原 進



株式会社仙台協立
代表取締役
氏家 正裕

参加申し込み ▶

[https://forms.gle/
49R9UvKKXQYsBA397](https://forms.gle/49R9UvKKXQYsBA397)



お問い合わせ ▶

iusall@mori-m-foundation.or.jp

※会場ではマスクの着用は各自のご判断をお願いいたします。

主催：森記念財団 都市戦略研究所

● 趣旨・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの「特性」を活かしながら都市づくりを進め、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。そのためには、各都市が現在の都市の魅力、歴史的・文化的・地理的なコンテキストも含め

て客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行にしていくことが求められる。

そこで、当連続シンポジウムの第5回目は、バランスのとれた総合力が強みの仙台市が、どのような戦略で都市の未来像を描き、どれだけ都市の魅力を高めていけるのか。特にまちづくりの分野において、何に特化して都市力を高めていけばよいのか、仙台市で活躍されている都市の専門家とともに様々な側面から議論する。

● スケジュール

🕒 13:00-13:30

市川 宏雄

「日本の都市特性評価 2023」
によって明らかになった仙台
市の魅力と課題

🕒 13:30-14:00

榊原 進・氏家 正裕

仙台市の魅力と課題、過去・
現在・未来を見据えて魅力を
伸ばすための施策は何か

🕒 14:00-14:45

パネルディスカッション

課題を解決するためにすべき
ことは何か、各アクターの
役割とは

🕒 14:45-15:00

質疑応答

● 登壇者略歴

市川 宏雄

明治大学 名誉教授

東京の本郷に1947年に生まれ育つ。都立小石川高校、早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修士課程、博士課程(都市計画)を経て、カナダ政府留学生として、カナダ都市計画の権威であるウォータールー大学大学院博士課程(都市地域計画)を修了(Ph.D.)。一級建築士でもある。

ODAのシンクタンク(財)国際開発センターなどを経て、富士総合研究所(現、みずほリサーチ&テクノロジーズ)主席研究員の後、1997年に明治大学政治経済学部教授(都市政策)。都市工学出身でありながら、政治学専攻で都市政策の講座を担当するという、日本では数少ない学際分野の実践者。2004年から明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長、ならびにこの間に明治大学専門職大学院長、明治大学危機管理研究センター所長を歴任。

現在は、日本危機管理防災学会・会長、日本テレワーク学会・会長、大都市政策研究機構・理事長、日本危機管理士機構・理事長、森記念財団都市戦略研究所・業務理事、町田市・未来づくり研究所長、Steering Board Member of Future of Urban Development and Services Committee, World Economic Forum(ダボス会議)in Switzerlandなど、要職多数。

榊原 進

特定非営利活動法人都市デザインワークス 代表理事

1974年静岡県生まれ、1997年東北大学工学部建築学科卒業、1999年同大学院工学研究課修士課程修了、同研究員を経て、2002年都市デザインワークスを設立。仙台を拠点に市民主体のまちづくりを主導するとともに、仙台都心を流れる広瀬川流域一帯の魅力を生かして社の都の価値を高める「せんだいセントラルパーク構想」を多様な主体とともに推進している。また、(財)宮城県地域振興センター特別研究員を兼務(2001-2009年)し、醸室(かむろ/古川中心市街地の酒蔵群を活用した複合施設)の事業化や小牛田駅東部地区まちづくりなどにも携わってきた。近年、(一社)荒井タウンマネジメント理事・事務局長(2014年-)、(一社)定禅寺通エリアマネジメント専務理事(2022年-)に就任するなど、エリアマネジメントに挑戦している。

仙台市市民公益活動促進委員会委員(2010-2013年度)、仙台市総合計画審議会委員(2018-2020年度)、河北新報読者と考える紙面委員会委員(2015-2021年)、青葉山エリア文化観光交流ビジョン検討懇話会座長代理(2022年度)、片平丁小学校学校運営協議会会長(2022年-)、東北大学特任教授(客員)(2022年-)などを歴任。

氏家 正裕

株式会社仙台協立 代表取締役

宮城県石巻出身。東北学院大学法律学部卒業。東京の橋梁建設会社を経て、1998年に祖父の代から続く株式会社仙台協立へ入社。不動産会社として、仙台市中心部と都内に、オフィスビル、飲食店ビル、レジデンスを中心に複数棟ビルを所有し、時代のニーズや入居者希望に合わせてリニューアルを行うことで、築古ビルの安定的な入居率維持と不動産価値の向上に取り組む。

また、2016年に「敷地に価値なし、エリアに価値あり」という言葉に出会い、翌年には様々な分野で活躍する地元プレーヤーとの協業で、使われていなかったビル屋上を改装し、上から定禅寺通が一望できるレンタルパーティスペースROOFGARDENをオープン。この遊休不動産の利活用事業展開をきっかけに、不動産に関する専門性を通して、地域の発展に貢献していくまちづくりにも力を入れている。

日本商事株式会社 代表取締役
(一社)定禅寺通エリアマネジメント 代表理事
定禅寺通りまちづくり協議会 幹事
肴町公園周辺エリアまちづくり協議会 理事長
仙台ビルディング協会 理事
仙台経済同友会 幹事